

平成 29 年第 1 回山田町議会定例会 一般質問通告の要旨

一般質問は、3月2日（木）に順位1～5番を、3日（金）に6～10番を、6日（月）に11番を行う予定です。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	11 番 菊地 光明	1 道路整備について	<p>(1) 林道赤松線について、町道認定をして整備する考えはないか。</p> <p>(2) 昨年3月議会において、国道45号大沢新開地地区から山谷方面に向かった右側への歩道設置について、三陸国道事務所に対し設置要望はしているし、今後も継続して要望していくと回答を得たが、その後の要望活動と経過はどうなっているのか。</p> <p>また、新開地地区と国道45号の交差点について、現在の押しボタン式信号機でなく、正規の交差点用信号機と歩道の設置を三陸国道事務所に要望して地区住民の安全を確保すべきであると思うがどうか。</p> <p>(3) 町内の国道45号の切りかえ工事は終了したが、街灯の不足が目立つ。今後の設置計画について示せ。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	11 番 菊地 光明	1 道路整備について (つづき)	(4) 国道開通と共に長崎地区から国道と交差する箇所は渋滞が激しい。右折レーンか左折レーンが必要と考えるが、整備計画はどうなっているか示せ。
		2 土地利用について	(1) 日向の脇地区と早川地区の土地利用計画について示せ。 (2) 昨年 3 月議会において、田の浜地区の土地利用については、土地交換による土地集約、それと並行して漁協、自治会などの意見を聞きながら計画策定を進めると回答を得てから 1 年たつが、その後の経過と計画策定について示せ。 (3) 各地区の高台団地造成も進み、移転が進んでいる。造成した土地について一筆ごとに調査していると思うが、擁壁の高さが 1 メートルを超える宅地は何筆あるのか。その場合、個人で擁壁をつくる方々への補助はどうなっているのか示せ。
		3 6 次産業化について	(1) 昨年 12 月議会において、今後町内 4 地区の産直（荒川加工組合、白石生産組合、豊間根産直、道の駅やまだ）と話し合っていくとの回答があったが、その後話し合いをしたか。 また、各産直からの要望等はあったか。 (2) 白石地区については、生産組合が事業を計画、実施するに当たり、この取り組みに協力すると回答を得ているが、その後の経過について示せ。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	11 番 菊地 光明	4 観光振興について	<p>(1) 昨年の3月議会で荒神海水浴場からNHKラジオ中継局までの道路の概略設計業務を発注しており、その結果を踏まえ整備手法等について検討すると回答があったが、その結果はどうなっているのか。</p> <p>(2) 陸中山田駅の再建について、山田町の観光発信の中心と考えた場合、観光物産館やインフォメーションセンターを備えた観光拠点として整備する必要があると考えるがどうか。</p> <p>(3) 今後の観光振興と文化財との融合を考えた場合、船越半島の小田の御所遺跡の発掘調査を実施して荒神海水浴場と一体的に観光推進すべきと考えるがどうか。</p>
		5 スポーツの振興について	<p>今後の当町の競技スポーツ向上のためにもラグビーサッカー場の人工芝化については敬意を表します。そこで伺います。</p> <p>(1) 現在町内のスポーツ関係で競技人口も多く、また、競技力向上のためのスポーツ教室に力を入れているのはテニス競技である。総合運動公園のテニスは全天候型であるが、山田中学校のテニスは昔のままである。これを機会に全天候型に更新してはどうか。</p> <p>(2) 昨年の3月議会において、B&G海洋センター育成士の養成について、検討していくと回答を得た。そこで伺う。</p> <p>① 1年間で何人育成士の養成ができたのか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	11番 菊地 光明	5 スポーツの振興について(つづき)	<p>②これまでに資格失効した育成士は何人いて、そのうち何人について登録更新ができたのか。</p> <p>③再研修が必要な育成士は何人いて、そのうち何人が再研修を受けたのか。</p> <p>(3) 国体のレガシーをどのような形で今後のスポーツ振興につなげようとしているのか。</p> <p>また、スポーツ・文化と観光の融合をどのようにつなげていくのか示せ。</p>
		6 海外派遣について	ジュニア海外派遣について、昨年の実績と結果を踏まえ、今後の方針について示せ。
2	7番 尾形 英明	1 農業委員会法改正後の委員会の業務実績について	<p>農業委員会法改正に伴い、新体制で間もなく1年になります。今までの山田町の農業委員会は耕作放棄地解消などいろんな方面で貢献して全国農業会議所の会長賞を平成22年に受賞しております。そこで新体制に対して、次のことを伺います。</p> <p>(1) 農業委員会の業務の重点である農地利用の最適化の推進方法は。それによる実績は。</p> <p>(2) 各地域に農地利用最適化推進委員が配属されているが、その業務の地区ごとの実績は。</p> <p>(3) 農業委員の業務の一つとして、耕作放棄地の発生防止・解消など最適化の推進とあるが、その対策と実績は。</p> <p>(4) 担い手への農地利用の集積・集約化の状況は。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	7番 尾形 英明	2 農振地域を見直した開発について	雇用の拡大などは、工場誘致が絶対条件の一つであると思います。 開発許可基準が大幅に緩和されている今日、農振地域を見直して、今の時代に相応した開発規模に縮小し、工場地域や産業振興、居住環境の改善に充てればと考えますが、当局の考えをお伺いします。
		3 災害査定を受けなかった災害箇所今後の対応について	災害査定は申請主義で、出さなければ査定は受けられません。台風10号等で被害を受けていても今回の査定に出されていない現場が数カ所あります。その現場復旧について、今後どのように対応するのか、当局の考えをお伺いします。
		4 豊間根地区の排水路整備について	28年度で施工する島田地区の排水路整備工事の状況はどのようになっているか。 29年度から堂ヶ鼻地区の工事に着手とのことですが、ルートや構造の確認を地元住民に説明したのかお伺いします。
3	10番 坂本 正	1 町内の道路について	(1) 東日本大震災から6年がたつが、草木地区の道路整備はまだ手つかずである。今後の対応を示せ。 (2) 国道から山田町役場に向かう道路について、震災後に札幌市のような碁盤の目状に道路を整備し、町並みをつくれなかったか示せ。
		2 陸中山田駅裏の土地区画整理事業について	(1) 減歩について地権者の皆さんに説明しているのか示せ。 (2) 駅裏の土地のかさ上げは3メートルと説明を受けているが、なぜその高さなのか示せ。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	10番 坂本 正	3 被災した町内の建物について	(1) 被災した建物がまだ町内で見受けられる。今後どのように撤去するつもりか。町の対応を示せ。 (2) また、このような建物は町内に何戸あるか示せ。
		4 仮設商店街について	今の仮設店舗への移転は2回目であり、今後は本設に移行するものと思うが、町の対応を示せ。
		5 織笠の斎場について	(1) 龍泉寺から借りている土地はいつまで使用できるのか示せ。 (2) 龍泉寺への返還はどのような形で行うのか。
		6 織笠コミュニティセンターについて	織笠コミュニティセンターの完成までの予定を示せ。
4	9番 阿部 吉衛	1 復興事業について	(1) 北浜災害公営住宅が完成し、入居者説明会が今年の11月7日にありました。その時に擁壁の曲がりや段差、地盤沈下、水路等の説明をしていただきましたが、入居する方々から「暮らすのが不安である」との声が上がっています。 町では解決に向け、県との協議をどのように進めていくのか。 (2) 町内各地区で防潮堤がつくられておりますが、中央町の防潮堤にひび割れ等が見られます。構造や工事等に問題があるのではないかと。この件について、県との話し合いは進んでいるのか伺います。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	9番 阿部 吉衛	2 今後の副町長の体制について	町では現在副町長2人体制となっています。鈴木副町長は山田町に来てもうすぐ3年目を迎えますが、鈴木副町長が抱えている課題等がたくさんあると思います。今後の副町長の体制について、佐藤町長の考えを伺います。
		3 観光事業について	東日本大震災から6年目が経過しようとしております。町内でも町並み整備や住宅再建が急ピッチで進んでおりますが、観光事業も並行して進めなくてはならないと考えております。オランダ島の清掃活動、流木、立ち枯れなど危険な物などの撤去作業を水産商工課、心の絆の会及びボランティアの方々と共同で行ってきました。今年1月に環境省がオランダ島等の視察に来たと聞いていますが、町では「山田湾海域公園地区」の復旧・復興をどのように進めていくのか。
5	8番 関 清貴	1 被災した集会施設について	東日本大震災から6年目が経過しようとしています。町中心部の国道45号が整備され、山田地区の区画整理事業の工事が本格化するなど、復興完遂に向けて進んでいます。そこで次の点について伺います。 (1) 山田地区の被災した集会施設（飯岡防災センター、北浜防災センター、山田漁村センター）の復旧はどのように進める予定か。 (2) 町では復興完遂に向け、「心の復興」に対応するための支援策を考えているか。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	8番 関 清貴	2 三陸鉄道移管について	東日本大震災で被災した鉄道の復旧工事が進められ、三陸鉄道移管後の4市町首長会議が開かれたようです。県の試算では赤字スタートとなるようで、前途多難な開業を強いられますが、鉄道を活かしたまちづくりを進めるため、また、町民から利用され、親しまれるための新駅を設置する考えはないか伺います。
		3 教育環境について	学校敷地内の応急仮設住宅の集約は、計画によると平成29年9月から始まり、学校施設も震災前の環境に戻るよう復興が進んでいます。そこで次の点について伺います。 (1) 町内小中学校の洋式トイレを今後ふやす計画はあるか。 (2) 細浦柳沢線の整備に伴い、大浦地区等から県北バスを利用して通学している生徒の利便性を考慮し、乗降場所について県北バスと協議してはどうか。
		4 安全な道路施設の管理について	長崎地区は細浦柳沢線が新設され、交通の流れが変わることが予測されるが、信号機、横断歩道などを設置して通学路の安全確保を考えているか伺います。
		5 被災事業者の営業の再開について	被災事業者のうち、現時点で把握している本設希望の業者数、廃業をする業者数等を伺います。
		6 学校給食について	学校給食センターの運営方式、食育を考えた地元の食材活用などを検討する委員会等はいつ発足させる予定か伺います。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	2 番 田村 剛一	1 復興事業について	<p>3.11 大震災から7年目を迎えようとしている。復興事業も最終段階に入っているが、なかなか町の未来像が見えてこない。そこで次のことについて伺う。</p> <p>(1) 山田地区の土地区画整理事業、防災集団移転促進事業は、計画どおり平成29年度中に完了するのか。</p> <p>(2) 仮設商店街の撤去はいつころの予定か。また、撤去後の事業者の動向を把握しているか。</p> <p>(3) 防潮堤の建設がなかなか進まないが、工事は計画どおり進められているのか。</p> <p>(4) 災害公営住宅の空き部屋が相当あるようだが、その原因と空き部屋解消の対策を示されたい。</p> <p>(5) 復興事業も完成に向かい、撤退事業者もふえていると思うが、雇用状況に変化が生じているか。また、今後の雇用対策は。</p>
		2 人口減少対策と町の活性化について	<p>(1) 人口減少は、町の存亡にかかわる重大な問題である。町は、人口減少対策として具体的な計画を持っているか。計画を示されたい。</p> <p>(2) 人口減少は、町の経済に大きな影響をもたらす。労働力・後継者不足、消費・購買力の低下、それに伴う町民所得の減少、そうした現象が起きないための対策を示されたい。</p> <p>(3) 定住人口の増加が難しい今は、交流人口の増加に期待する自治体は多い。対策として、観光事業の推進、外国人研修生の受け入れなどがある。町の交流人口をふやすための具体的な対策を伺いたい。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	2番 田村 剛一	2 人口減少対策と町の活性化について (つづき)	(4) 町外のみなし仮設住宅に入居している町民は多いと聞く。何人いて、そのうち山田に帰る希望を持っている人はどのくらいか。帰ってきたいと思う環境づくりも必要と思うがどうか。
		3 産業振興について	これからの地場産業の振興は、特産品の開発、生産にかかっている。そのためには、産・官・民・学一体の体制づくりが必要。山田を売り出すための特産品の開発・生産に取り組んでいる事業があったら、具体的に示されたい。
		4 既存集落の環境整備について	今日まで復興第一でのまちづくりが進められてきた。復興のめどが立った今、被災しなかった既存集落の下水道及び道路などの環境整備に目を向けてもいいのではないか。このままでは生活環境が悪化し、将来空き家集落が出現しないとも限らない。そうならないための環境整備が必要と思うがどうか。
		5 教育立町について	山田町で子育てをすると安心だ。教育環境も子育て環境も医療体制も整い、親は安心して働ける。そのような新しい町の建設、少子社会に対応する考えがあってもよいのではないか。そこで次のことを伺いたい。 (1) 町民によく見えるガラス張りの教育行政が必要。そのための努力をどうされているか。 (2) いじめ、不登校を少なくするため、町独自の対策が取られているかどうか。またその実態は。 (3) 放課後児童クラブは充実してきたが、障がいを持つ児童も受け入れる考えはないか。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	2番 田村 剛一	5 教育立町について (つづき)	<p>(4) 新しい学校のあり方が全国的に模索されている。山田町でもそうした考えで統廃合を考えてよいのではないか。</p> <p>(5) 山田町の教育力をアップするため、高等教育機関(大学)や研究所の誘致に力を入れたらよいと思うがどうか。</p> <p>(6) 教育立町にふさわしい文化、スポーツ施設の充実を図ってはどうか。</p>
7	6番 木村 洋子	1 空き家対策について	<p>空き家が徐々に増加しているように見受けられる。町として把握している空き家は何軒あり、利活用が可能と思われる物件は、その中で何割くらいあるのか。</p> <p>家主の不在等で空き家になり、今後どのように管理していけばいいのかと途方に暮れる親族もいる。町としても空き家情報を「空き家バンク」として把握し、ニーズに沿った対応をしていくべきである。また、いまだに自立再建のめどを立てられずにいる被災者もいるので、選択肢の一つになり得るのでは。</p> <p>空き家の利活用と地域活性化につながる「空き家バンク」の設置を考えるべきである。町の考えを問う。</p>
		2 除雪について	<p>(1) 田名部から関口へ抜ける道路は緊急時に備え除雪しておくべきと考える。3.11の震災大津波のとき、この道路は豊間根・荒川からおにぎりを運んで、被災者の「命をつないだ道路」と言っても過言ではないと思うのだが、この冬の積雪時には除雪がされておらず、通行に支障を感じた。三沿道はまだ開通していないので、津波などの緊急時に備え、除雪しておくべきでは。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	6 番 木村 洋子	2 除雪について (つづき)	<p>(2) 現在の学校の除雪は、学校職員や雪かきボランティアの皆さんが行っている場合が多いと思うが、人数も限られていることから人力だけでは厳しい状況である。積雪も多く雪が解けにくい地域もあるので、子供たちが通る歩道などの安全確保のため効率よく雪かきができる除雪機を必要とする学校には配備すべきではないかと考える。町としての対応は。</p> <p>(3) 当町の除雪対応の基準は積雪 20 センチメートルからとのことだが、雪の質等により積雪が 10 センチメートルくらいでも車の渋滞や転落事故の危険性が高まる地域もある。宮古市の場合、積雪 10 センチメートルからの対応と聞く。当町においても、積雪 10 センチメートル以下でも対応するよう除雪基準を見直すべきである。町の考えを問う。</p>
		3 小谷島漁港の災害復旧事業について	<p>小谷島漁港は今年の台風 10 号により被災した箇所も含めて 29 年度内の完成を目指すとのことである。</p> <p>当漁港は 23 年の震災大津波で被災し、25 年 10 月の台風 26 号で再び被災したが、昨年 8 月の台風でまた被災している。2 回の台風被害でなぜ壊れたのか、工法等に問題がなかったのかを問う。</p> <p>今年の台風では、南防波堤の消波ブロックの飛散で災害査定額は 6,212 万円とある。25 年の台風 26 号の災害復旧の際に、消波ブロックの重量化をするべきとの提言が反映されなかったため被災するような事態になったのではないかと問う。</p> <p>(次ページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	6番 木村 洋子	3 小谷鳥漁港の災害復旧事業について (つづき)	これでは何度多額の復旧工事費をかけても同様の被害を受けかねない。町はどのように考えているのかを問う。
8	3番 佐藤 克典	1 町道白山・石峠線の道路改良について	町道白山・石峠線の白山側入口付近は緩やかなS字カーブとなっており、特に冬場は民家の影になっていることから、路面が凍結し通行に不便を来している。現在、新たな県道の整備が進められているが、同路線はこの県道に接続し、今後は大型車両を含め、交通量の増加が予想される。このことから県道の整備と並行し、入り口を羽々の下側に移設して直線とし、車両の円滑な通行を図るべきと思うが、町の考えはいかがか。
		2 出産祝い金について	昨年を示された山田町総合計画（第9次長期計画）人口ビジョンによると昨年時点での合計特殊出生率は約 1.54 であり、若い世代の結婚・出産・子育てを支援する地域づくりを進めることにより、2030年までに国民希望出生率である 1.8 まで向上させることを目指すとされているが、出生率向上のため、第3子以降の出産に対して祝い金を支給し、多子世帯の保護者の経済的負担軽減と本町への定住促進を図るべきと考えるがいかがか。
		3 完全給付型奨学金について	29年度から大学や高校などに進学する生徒への奨学金制度について、貸与型から返還不要の給付型へ移行し、進学を後押ししたいとのこと。このことは経済的理由で進学を断念せざるを得ない、意欲と能力のある児童・生徒、また保護者にとって喜ばしい制度と思う。 (次ページへ)

順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	3番 佐藤 克典	3 完全給付型 奨学金について (つづき)	<p>しかしながら、事業対象期間が復興計画の最終年度の32年度とされており、この4年間の対象にならない児童・生徒は不公平感を抱くものと推察される。</p> <p>33年度以降、対象人数を減らすことはあっても、この制度は継続するべきと考えるがいかがか。</p>
		4 結婚新生活 サポート事業 について	<p>新婚夫婦の住まいへの支援に対し、「結婚新生活サポート事業」を創設することのことだが、この事業の内容、効果について問う。</p>
		5 集会施設の トイレ改修に ついて	<p>老朽化が進んでいる各地区の集会施設について、高齢者や障がい者に優しい施設となるよう、「コミュニティセンター等集会施設トイレ改修事業」を実施することのことだが、29年度はどこの施設を改修するのか。また年次計画について問う。</p>
9	4番 黒沢 一成	1 交通について	<p>(1) 浦の浜地区の防潮堤・道路工事の進捗に伴い、バス路線も切りかえが必要であると思う。これに合わせて、バスが山田病院を經由するよう県北バスと協議するべきでは。</p> <p>(2) 復興工事の進捗に伴い、車の通行量が増え、信号機、横断歩道、道路標識の見直しが必要になってきていると思う。地域住民の意見も聞きながら進めるべきでは。また、仮設の道路であっても、歩行者に十分配慮した形とすべきであるが、どうなっているか。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	4 番 黒沢 一成	2 観光について	<p>荒神海水浴場の利用が開始されており、帰省した方に喜ばれている。一方で少子化・若者の人口減少及び小学校のプールが使えることもあり、震災の影響を別にしても、海水浴をする人は減っているように感じる。そのような中で施設の充実は厳しいとも考えるが、最低限の施設がなければ資源の利活用もできないので聞く。</p> <p>(1) 浦の浜海水浴場は砂浜とトイレ・シャワー棟の供用が開始されるようだが、駐車場、監視塔の整備は夏までにできるのか。</p> <p>(2) シーカヤックの艇庫の整備予定は怎么样了なっているか。</p> <p>(3) オランダ島の利活用、トイレの整備計画は怎么样了なっているか。</p> <p>(4) 船越公園の整備が進んでいるが、アクセス道や駐車場が整備されなければ、公園や鯨館を利用できないのでは。アクセス道ができるのはいつの予定か。</p>
		3 降雨防災について	<p>昨年の台風 10 号により岩泉町などで大きな被害があったことにより、降雨による河川氾濫に対する防災の必要性が身近なものとなった。</p> <p>豊間根地区では震災前から心配する声があり、防災マップが作成されるなどしてきたが、どこに避難すればよいのかわからないなどの声も聞く。氾濫する恐れのある河川流域住民と話し合いを持ち、避難場所の設定をしていくべきでは。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	4番 黒沢 一成	4 奨学金について	山田町育英会の奨学金を32年度まで完全給付型にするようだが、資金はどのようになるのか。また、現時点で貸与を受けている在學生及び33年度以降に貸与を受ける学生との整合性はとれるのか。4年間の期間限定での完全給付ではなく、一部返還免除の形で対象期間を長くしたほうがよかったのではないか。
		5 学校の統廃合について	保護者や地域住民と意見交換をしながら、学校教育について考えていくことはよいことだと思う。統廃合は地域の納得があって進むものであるが、地域にとっては学校は一つのよりどころであり、自ら統廃合に関して積極的な意見は出しにくいと思う。大勢の同級生の中で育った世代にとっては、少人数での教育環境を心配する声もある。これからも少子化は進むと予測されるので、町として数年先を見通して、ある程度の考えは持っておくべきと考えるがどうか。
10	5番 田老 賢也	1 山田のご当地グルメ開発について	<p>山田町は海産物・農産物を売りにしているが、最近では他地域との競争が激しい。例えばカキに関して、以前はカキ小屋が山田町の売りの一つであったが、現在は沿岸各自治体のみならず、内陸や首都圏でも新鮮なカキが食べられる場所がふえ、「山田町でなければならぬ」意義が低下している。</p> <p>同様の問題を抱える自治体では、ご当地グルメを開発して売りにするところも出てきており、B-1グランプリ等のイベントも盛況である。</p> <p>これまでどおりの素材を生かした食に加え、このような「山田でなければ食べられない」ご当地グルメを開発し、山田町の観光を盛り上げていくべきと思うが、当局の考えは。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	5番 田老 賢也	2 災害公営住宅のコミュニティ構築について	<p>各地に災害公営住宅が完成し、新たな住まいでの生活を始める世帯がふえている。関係者の努力により復興が進んでいることは大変喜ばしい。</p> <p>その一方で、マンション形式のようななじみのない住環境により、新たなコミュニティ構築に問題が生じている。</p> <p>コミュニティ構築には住民自らの活動も大切だが、行政からのきっかけづくりがなければ動きづらいのも事実である。今後どのように対応していく予定か。</p> <p>また山田中央団地の集会所について、住民が気軽に利用できるようにすべきと思うが、今後どのように管理していくのか。</p>
		3 空き家の活用について	<p>町内各地の空き家について、現在は状況の調査中であると聞いている。調査の経過と、調査後の空き家の取り扱いについて説明を求める。</p> <p>また空き家の活用方法の一つとして民泊が考えられるが、民泊事業を推進する考えはあるか。</p>
11	1番 阿部 幸一	1 災害公営住宅について	<p>県営災害公営住宅、町営災害公営住宅の状況はどうなっているのか。各施設ごとに整備戸数、現在入居戸数、空き家戸数について示せ。また、戸建て住宅については、2月17日まで再募集をしたようだが、その結果と今後の方針について示せ。町財政に負担が生じないように努力をすべきでは。</p>
		2 本町の財政について	<p>平成31年度以降の財政運営について、どのように対応するのか。また、町債はいくらになるのか。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
11	1 番 阿部 幸一	3 災害危険区域の活用について	各地区において災害危険区域に指定していた場所について、芝張り等をして緑地広場やマレットゴルフ場などの施設として活用する計画はないか。
		4 仮設店舗について	グループ補助金、その他の補助金を受けて工場や店舗などをつくっても、いまだに仮設店舗を利用している企業もあるようだが、町で何らかの対応を取らなければならないのではないか。
		5 漁業について	山田町の漁業はどのようになっていくのか。また、町としてどのように考えているか。
		6 健康と福祉の充実について	高齢者が地域で安心して暮らせるよう互いに支え合う地域づくりを推進することのだが、具体的に説明せよ。
		7 奨学金制度を活用した人材育成について	町の奨学金制度を見直し、完全給付型への制度改正をした。「復興計画の最終年度に当たる 32 年度までの期間限定で返還不要の給付型とし、意欲と能力のある子供たちの大学等への進学を強力にサポートし、復興と未来を託す若者の人材育成を進めてまいります。」とのことですが、町の将来を見据え、人材不足となっている分野に対してこの制度を活用するなど、町も何か考え行動してほしいと思うがどうか。